

エスペック信頼性セミナー2019（名古屋・東京）のご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
 今月18日に名古屋、27日に東京でエスペック信頼性セミナー2019を開催いたします。
 お仕事の上で少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。ご参加を心よりお待ちしております。 敬具

記

<講演テーマ>

- 【自動車の電動化加速と電池メーカー各社の戦略、評価動向】
 - 【車載部品の国際規格に適合した評価のワンストップソリューション】
 - 【製品の潜在的弱点を短期間で検出する HALT(高加速限界試験)】
- について講演いたします。

基調講演では、日経ビジネスオンライン コラムへの連載(2013年～2019年1月)や自動車の電動化・車載電池メーカーの動向について数多く講演をおこなっている名古屋大学客員教授・エスペック上席顧問の佐藤が発表いたします*。

*プロフィール：<http://drsato.biz/profile/>

講演内容の詳細は2ページ目をご参照ください。

<会場・日時>

名古屋会場

2019年11月18日(月) 13:30～17:00 [13:00 受付開始]

場 所： オフィスパーク名駅プレミアホール&会議室 403ABC (4階)

[住 所] 名古屋市中村区名駅4丁目5番27号 大一名駅ビル4階

[交通アクセス] JR/名鉄/近鉄/地下鉄「名古屋駅」をご利用可能です。

https://www.officepark-net.jp/conference/nagoya_premiahall/?tab=3

東京会場

2019年11月27日(水) 13:30～17:00 [13:00 受付開始]

場 所： CIVI 研修センター 秋葉原(電気街口) D205(2階) ※昨年の会場とは異なります。

[住 所] 東京都千代田区神田須田町1-5-10 相鉄万世橋ビル

[アクセス] JR/つくばエクスプレス「秋葉原駅」、JR/東京メトロ「神田駅」などをご利用可能です。

http://www.civi-c.co.jp/access_t.html#akihabara

申込方法: 下記URLのWEBサイトよりお申込ください。

■名古屋会場 申し込みフォームはコチラ↓↓■

https://espec-recpt.azurewebsites.net/HTMLClient/?accept_no=1902S

■東京会場 申し込みフォームはコチラ↓↓■

https://espec-recpt.azurewebsites.net/HTMLClient/?accept_no=1903S

*当社同業の企業様からの申込はご遠慮いただく場合がございます。予めご了承ください。

受講料： 無 料 (事前申込が必要です)

問 合 先： エスペック信頼性セミナー2019 事務局 (古家^{ふるや})

[Mail] espec-seminar2019@espec.co.jp / [Tel] 06-6358-4751

以上

講演内容

▶第一部：基調講演

「日韓中電池業界の激突と次世代電池開発の展望」

発表：名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授 工学博士

エスベック株式会社 上席顧問

佐藤 登

「概要」

米国 ZEV 規制、中国 NEV 規制、そして 2021 年に発効する欧州 CO2 規制に呼応する動きで、自動車の電動化が加速しています。EV を最大限優遇することに特化した中国政府が、19 年 7 月に HEV を優遇する制度の検討を始めたことで、自動車の電動化勢力図や自動車各社の戦略に大きな影響を及ぼします。同時にこれは、HEV 用電池で優位性をもっている日系電池各社への追い風ともなります。また、次世代電池の有力候補として期待が高まる全固体電池の現状と課題についても触れます。

▶第二部：商品・サービス紹介

①「EV 用二次電池の評価動向と装置機能紹介」

発表：エスベック株式会社 カスタム機器本部 稲原 順一

「概要」

各国の自動車に対する排出ガス規制の強化により、その目標値を達成するために、近年自動車メーカー各社は電動化をより一層加速させています。EV 用二次電池はカメラやノートパソコン、携帯電話などの民生用と比較して、高容量、高出力のため、必要な評価機能も異なります。本講演では EV 用二次電池の評価動向と装置機能についてご紹介します。

②「世界につながる技術と品質、エスベック受託試験のご紹介」

発表：エスベック株式会社 テストコンサルティング本部

【名古屋会場】高畑 淳一 【東京会場】梅田 和慎

「概要」

車載用機器、部品のグローバルな調達が加速する中、試験基準として広く利用されている国際規格 ISO16750 やドイツ自動車業界規格 LV124。エスベックの受託試験所では、これらに対応する設備を導入し、規格に適合した評価のワンストップソリューションをご提供いたします。気候的環境・機械的環境・通電・冷却など、実車走行環境を模擬した評価や ILAC/MRA 適合による世界基準の試験品質についてご紹介します。

▶第三部：技術報告

「評価基板を用いた HALT 振動と単軸振動による故障モード評価」

発表：エスベック株式会社 テストコンサルティング本部 藤本 恵一

「概要」

HALT は厳しいストレスを与えて短時間で製品の潜在的な故障を検出する加速試験で、製品開発サイクルの短縮など目的として行われています。その主要ストレスである 6 自由度ランダム振動は従来型単軸振動に対して、ある程度の故障モード類似性を持つと考えられましたが、定量的な検証例は多くありませんでした。本講演では、評価基板を使用した両振動による試験結果より、統計及び故障解析により検証した故障モードの類似性について報告します。